

とろみ



市議会だより



第2回定例会	2~3P
常任委員会審査報告	4~5P
常任委員会行政視察報告	6~7P
一般質問	8~14P
承認・可決した条例等	14~15P
全員協議会だより	16P
議会のうごき	17P
私の一言	18P

第22回
新張子どもみこし

Vol.26

2010 8/1

専決処分・補正予算・条例の一部改正など15議案 原案通り可決



造成工事が行われている伊勢原団地

中心部へ建設したいという意向がある。

総務課長 補償額は移転補償費である。補助金の関係は考慮していない。

総務部長 再建築する場合には補助金を差し引いて算定しなければいけないが、除却する場合は現在の建物の価値でやることになっている。

■国際読書年の取り組み

問 図書館費の中で国民読書年ということで行事が予定されているがその内容はどうか。文集もできたらお願いしたい。

生涯学習部長 今回新たに感想文コンクールを予定している。具体的には小学生・中学生・高校・大学・一般の部などで募集して実施したい。

あわせて読書を推進する立場での見識ある方の講演会を考えている。

■伊勢原団地のボーリング

問 伊勢原団地建設で2160万円増えている。その内訳はどうなっているのか。ボーリングをやったら地盤が弱く杭を打つことになったということだが、最初からわからなかったのか。バリアフリーなどは事前にわかっており、もっと最初から丁寧に予算をつくるべきだ。補正補正ありきではないけない。

建設課長 地盤が軟弱であることはボーリングしてわかった。杭打ちが必要になる。その他家の中やトイレなどスロープなどに手すりをつけたら、安全のためにオール電化にするための費用だ。今後このようなことのないようにしたい。

■図書館の活用状況は？

問 小学校や中学校の図書館の図書充足率はどうなっているのか。学校基準を達成できているのか。図書館として本の読み聞かせなどやっているのか。

教育次長 標準蔵書数の充足率を達成していないのは北御牧中学校だけだ。廃棄蔵書数が多かったためだ。

まわりの図書館とのネットワークの中で調達して実施している。各学校では読み聞かせ、15分間読書、ボランティアの読み聞かせがある。

■海野宿の観光対策は？

問 まちづくり交付金で5年間で10億円かけるということだが、計画では観光客が全然増えないとされている。観光に対する取り組みをしっかりとやるべきだ。

産業建設部長 計画には観光という

面はないが、観光地としての集客を図って行きたい。

市長 海野バイパス開通が結果として観光客のためになる。

■福祉の窓口の充実を！

問 福祉相談の窓口は、市民が行っても職員が目をつらせるなど問題がある。

福祉課長 そのような声が昨年から聞こえ人員配置を変え、カウンターに近いところに職員を配備してきた。しっかりとできていないということであれば、もう一度職員を指導する。

平成22年度一般会計補正予算の主な内容

(単位:万円、1万円未満四捨五入)

庁舎施設整備事業商工会館移転補償費	4,020
コミュニティ放送局施設等整備補助金	1,700
住宅用太陽光発電施設導入補助金	600
海野保育園改築事業補助金	266
緊急雇用創出事業(障害福祉事務諸経費)	240
自殺実態把握調査研究委託料	38
就農者住宅シロアリ駆除委託料	25
明神館源泉ポンプ修繕費	194
歴史的風致維持向上計画策定委託料	750
市営住宅伊勢原団地建設工事	2,160
緊急雇用創出事業(道路維持管理)	175
自主防災組織育成助成補助金	30
小中学校児童生徒図書費	150
梅野記念絵画館オーケストリオン修繕費	250
国民読書年読書推進事業費	80

常任委員会審査報告

玩具展示館

入場者数順調に推移

本委員会は、6月17日付託された条例案3件、及び継続審査となっていた陳情1件を6月18日に審査し、後に現地調査を行いました。

議案第45号、東御市職員の勤務時間及び休暇等に関する条例等の一部を改正する条例は、法改正に伴い、子を養育する職員の環境整備等を図るほか、所要の改正を行うものです。

議案第46号、東御市一般職の職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例は、法改正により条ずれが生じたことによる改正です。

議案第49号、玩具展示指定管理者の指定については、海野宿保存会を指定管理者として指定するものです。以上条例案3件は、原案を可決すべきものと決しました。

継続審査となっていた陳情第24号政治資金規正法の制裁強化を求める陳情は、採択すべきものと決しました。

現地調査では、コミュニケーション「エフエムとうみ」の工事状況を調査し、6月末の工事完了を目指して順調に進んでいることを確認しました。次に指定管理制度に移行する海野宿の玩具展示館を視察し、開館以来入場者数が順調

子宮頸がん予防ワクチン接種の 公費助成を求める意見書を採択

本委員会は、6月17日に付託された請願・陳情3件、及び継続審査となっていた陳情1件について18日審査し、その後、称津保育園仮設園舎と称津保育園建設地の現地調査を行いました。

請願第6号は採択すべきものと決定。審査経過では、請願書の本分の中に「自分の体と性について正しい知識を得る機会とするため、この間後退させられた学校での性教育を強めることが必要です。このことが、女性の生涯にわたる『性と生殖に関する健康・権利』（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）を保障することにもつながります。」という表現があります。この表現について、委員から「後退させられた学校での性教育」という表現は理解ができない。また「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」という言葉は、まだよく周知されておらず理解されていないのではないか」などの意見が出されました。しかし、「請願の願意は子宮頸がん予防ワクチン接種に公費助成を求めるものであり、採択すべきである」「ヒトパピローマウイルスが原因の子宮頸がんは、ワクチンで

農業委員定数を削減 負担増にならない配慮を

本委員会は、6月17日に付託された議案2件と陳情1件について審査を行いました。議案2件はいずれも原案を可決すべきものと全会一致で決定しました。

議案第47号については、農地法の改正により、農業委員の役割は以前にもまして重要となる中で、委員定数の削減による地域への迷惑と委員への過度な負担とならないよう配慮することを要望しました。

また、陳情第27号については、趣旨採択すべきものと決定しました。審査経過においては、陳情書における陳情者の願意はそれとおりであり、未就職新卒者への支援は、我が国の将来を担う若者の人生及び経済・社会の活力低下という観点からも喫緊の課題であることが全委員の統一した見解でした。

しかし、本陳情は中央向けの内容が主となっており、本市をはじめとする地方の実情とは異なる観点からの要望も見受けられました。また、「政府版中小企業就活応援ナビ」の創設に関しても、既に経済産業省からの補助による中小企業採用強化事業として、ドリーム・マッチ・プ

総務

社会

産業

に推移していることを確認しました。
次に和記念館については、本体及び周辺樹木等が整備されていることと共に、貴重な資料の保存と活用について確認しました。



和記念館の貴重な資料の保存と活用について確認



祢津保育園建設地を視察

予防できる唯一のがんである」などの意見が出され、採決の結果、全会一致で採択すべきものと決定しました。

陳情第20号は平成22年第1回定例会において閉会中の継続審査として再付託となったもので採択すべきものと決定、審査経過では「現行制度を廃止して、元に戻すことには賛成できない。国会の動きをもう少し見てはどうか」「意見書では老人保健制度に戻すよう提出を求めているが、新たな制度の早期創設を国において議論してもらうためにも、採択すべき」などの意見が出され採決の結果全会一致で採択すべきものと決定。陳情第28号は全会一致で採択すべきものと決定しました。

現地調査では祢津保育園仮園舎での園児たちの生活を視察、また、祢津保育園建設地は広く整地されていました。

ロジエクトが5月18日から開始されている状況でありました。以上のことを勘案した結果、陳情者の根本的な願意は理解した上で、国に対し意見書を提出すべきとの考えに基づき、全会一致で趣旨採決すべきものと決定しました。
現地調査は、ワイナリー「(株)リュード・ヴァン」のワイン醸造所・直売所を視察し、代表取締役小山英明氏より、ワイン造りに対する思い、今後の経営方針について説明を受けました。本年9月・11月に見学会およびオープニングセレモニーを予定とのこと。巨峰の王国からぶどうの王国へと変わるであろう今後の活躍に期待するところです。



(株)リュード・ヴァンのワイン醸造所で説明を聞く

常任委員会行政視察報告

日程 5月18日～20日

愛知県豊田市

○足助町の町並み保存について

静岡県掛川市

○生涯学習都市宣言からの活動状況について

東京都目黒区

○校庭芝生化について

東京都品川区

○小・中一貫教育の取組みについて

豊田市では、飯田街道にある足助町の古い町並み保存について視察しました。古い町並みを資源としてまちづくりを実践しているいくつかの団体と行政の協働でまちを愛し、発展を願う姿が参考になりました。

掛川市では、生涯学習都市宣言からの活動状況について視察しました。掛川市は、昭和54年に日本で最初に生涯学習都市宣言をし、以来、二宮尊徳の報徳の精神を基とした掛川学を中心とした生涯学習というものが市民に浸透している感がありました。個としての生涯学習が発展し、生涯学習まちづくりという形で具体化している姿が、まちのいろいろなところに見られ、まちに市民性が表れていると感じられました。

目黒区では、小学校の校庭の芝生化について視察しました。東京都のヒートアイランド対策

日程 5月11日～13日

富山県小矢部市

○認知症あんしんネットについて

福井県福井市

○子育て支援・少子化対策について

○地球温暖化防止活動について

滋賀県彦根市

○ひこね元気計画21について

小矢部市は、散居村で有名な砺波平野にあり富山県の最西端、石川県境に位置します。人口は3万2千539人。65歳以上の人口は9千291人で、高齢化率は28・6%（東御市25・4%）。

平成19年度から国の認知症地域支援体制構築等推進事業実施のモデル地域として、「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」に取り組んでいます。

①認知症コーディネーターの委嘱

グループホーム管理者や介護相談員、民生委員など7名を委嘱し、市全体で認知症の方やその家族を支える体制を構築することを目的に、企画から実施まで行政との協働体制により事業を展開しています。

②認知症サポーターの養成

認知症を正しく理解し温かく見守る応援者

日程 5月19日～21日

福島県下郷町

○「大内宿」保存と観光について

山形県東根市

○さくらんぼを活かした観光戦略について

新潟県十日町市

○「大地の芸術祭」における観光戦略について

平成22年3月に「東御市観光ビジョン」が示され、観光による交流人口の増加による消費の拡大や新たな雇用創出を期待したものとなっています。

そこで、産業建設常任委員会においては「観光」をテーマに先進地の行政視察を行いました。福島県下郷町伝統建造物群保存地区「大内宿」は、平日にもかかわらず多くの観光客でにぎわっており、食堂、土産店が軒を連ねる「保存」と「観光」が調和した観光地です。

保存建物46棟の内、民宿7棟、食堂15棟、土産店が42棟と雇用の場も充実しており、若者が後継者として活躍していることが伺えました。

また、「観光はおもてなしの心が第一」と捉えて取組んだ結果、観光客数も21年度はおよそ116万人で対前年比8万人の増加をしています。人口7千人足らずの町に116万人の観光客が訪れることで活気に満ち溢れていました。

総務

社会

産業



重要伝統的建造物群保存地区の選定を目指す足助町の町並み

の一環としてモデル的に実施されたものです。費用的には割高の感がありましたが、子どもたちは芝生の上でよく遊ぶようになったとの事でした。芝生の養生期間は使えない方式なので課題もあり、参考になりました。

品川区では、小・中一貫教育について視察しました。小・中一貫校は、9年間の義務教育期間を1～4年、5～7年、8～9年という形でとらえ、学力と人間形成の2つの視点から、年次別の目標が設定されていました。7月には小・中一貫教育の全国サミットが開催されるようで、新たな形として参考になりました。

「認知症サポーター」を増やすため、20年3月から養成講座（出前講座）を開講。対象は子どもから大人までと広く、地域や事業所、学校、行政機関等のあらゆる場所で行前講座を行っています。当初は千人のサポーターを目指してスタートしましたが、4か月で目標を達成。現在は4千人を超え、1万人を目標に取り組んでいます。なお、養成講座受講者には、「認知症の人を応援します」という意思を示す目印として、腕にはめる「オレンジリング」を配布しています。

そのほか、認知症コーディネーターが中心になり、啓発イベント「認知症を知る集い」や認知症高齢者徘徊見守り模擬訓練、見守り協力事業所登録事業、認知症相談窓口（14か所）マップの作成等の活動が行われています。

なお、東御市でも本年度から、多くの市民に認知症を理解してもらうため、認知症サポーター養成講座が開催されています。



養成講座受講者に配布される「オレンジリング」



平日でも多くの観光客で賑わっていた大内宿

山形県東根市「さくらんぼを活かした観光戦略」について、東根市は「さくらんぼ生産量日本一」、さくらんぼの王様「佐藤錦発祥の地」の二枚看板を擁する市です。平成6年に「果樹王国宣言」をしており、「さくらんぼ東根駅」をはじめとして、市内各種施設へは「さくらんぼ」を冠した命名がされています。また、「さくらんぼ」にちなんだイベントも豊富に行われており、特に「さくらんぼマラソン」には昨年、国内外から1万8千人が参加しています。

県内で唯一人口微増を維持しているのも「果樹王国」を前面に打ち出したまちづくりを進めた結果と捉えられます。

市政を問う

本定例会の一般質問は、6月14日・15日の2日間にわたり、12人の議員がそれぞれ行いました。その内容を要約してお知らせします。

一般質問は、とうみケーブルテレビおよび上田ケーブルビジョンで中継していますので、ご覧ください。

質問項目

阿部貴代枝

- ・市の人づくりによる協働のまちづくりについて
- ・子宮頸がんの予防ワクチンの補助について
- ・日本一の特徴ある図書館建設について
- ・男女共同参画社会づくりの推進について

依田 俊良

- ・部制について
- ・学校教育について

若林 幹雄

- ・土地開発公社の不良資産処理をどのように進めるのか
- ・温泉施設の委託契約を見直し、振興公社の自立的発展を目指すべきだ

小山 義明

- ・教育問題について
- ・海野宿を観光地としてどう発展させていくか
- ・西海野で具体化している2つのバイパスについて
- ・口蹄疫問題

長越 修一

- ・観光ビジョンについて
- ・土屋 伸吉
- ・東御市表彰規則について
- ・冬季の除雪体制について
- ・石和 大
- ・行政改革の進捗状況と今後の方針について
- ・自立型市民との協働、生涯学習まちづくりについて
- ・三繩 雅枝
- ・ガン検診の向上を
- ・視覚障がい者への情報バリアフリー

山崎美喜子

- ・化対策について
- ・櫻井 寿彦
- ・雇用対策と支援策について
- ・身体教育医学研究所の有効活用と財政支援について
- ・どの子にも基礎学力と生きる力を
- ・舞台が丘整備事業について

依田 政雄

- ・口蹄疫からわがまちの畜産業を守るために
- ・デイジー教科書の普及促進について
- ・市民の生命と健康を守るための、対策について

蓮見 喜昭

- ・土地開発公社について
- ・行政におけるインターネットを有効活用した情報発信について



阿部貴代枝 議員

問 答

多くの意見を聞き、ネットワークを通じた人づくりをいろいろな立場の意見を聞き、偏らないよう配慮している

問 市づくりに市民が関心を持つことが大切。委員会等に多くの人の参画を工夫してほしいがどうか。また、認知症サポーターの養成とネットワークを通じた人づくりを。

市長 協働のまちづくりの課題の中に、全体の意見が把握しきれない部分をどのような形で補完させるか、いろいろ

な立場の方々と意見交換をするには偏らない配慮が必要である。認知症は、地域の中に理解不足がある。社会全体で把握していく。

問 検診が難しい小中学生に、子宮頸がんワクチンの公的補助はできないか。
市長 子宮頸がんについては、基本的

に自分の身体は自分で守るという考え

を定着させ、検診をしていく。全国民の問題であり国で対応してほしい。
問 日本一の図書館の特色として、年齢を超えて楽しめる絵本や紙芝居の蔵書に力をいれてほしい。
教育委員長 図書館は自治体の文化のバロメーター。自分の生き方を考える

に図書館がなれば幸いである。
市長 親が子どもにしっかりと読みながら寝かしつけるというのが絵本のベ

ース。その思いが親に対する感情を膨らませる。
問 男女が共同して能力を発揮できる環境をどのように整備していくのか。
市長 男女が輝ける社会の実現は、全

行政挙げてこれにかかわることが大切。

女性が働きやすい環境を地域の企業と共に創っていく。まず、市役所の女性が働きやすい環境であることが重要。一係だけでなく課全体、市役所全体で取り組む課題である。



5月から始まった認知症サポーター養成講座



簡素化効率化が求められる市役所組織

問 少子高齢化、高度情報化、国際化等がより一層顕著になる社会情勢の中、



依田俊良 議員

問

部長制は機能しているか

答

効率的に機能している

地方分権の本格的実施もあいまって、地方行政に対するニーズはますます複雑に、そして多様になっている。そのような行政ニーズに主体的に対応すべく、知識、業務遂行能力はもとより経済的な判断能力、問題解決力など、より実践的なまちづくりを進めなければならぬ。東御市も合併して7年目に入った。当初、小さなまちなので部制は必要ないとの意見もあったが、組織の再構築につながり、効果的な組織運営ができれば問題はないと思うが、部制が導入されてのメリット・デメリットをどのようにとらえ、また見直しを考えている点はあるか。

※その他に義務教育9年間を、東御市としてどのように考えているか、教育委員長に質問した。

ついている。最大のメリットとしては、複数の課に関連する重要な課題等に関し、課を横断した調整機能が高まることにある。デメリットとしては職員に占める管理職の割合が高まることにより、組織が複雑化することもある。市の組織編成に当たっては、社会経済情勢の変化に対応したものとすることや、新たな行政課題や住民の多様なニーズに即した施策を機動的に展開できる組織であることが重要である。さらに簡素化して効率的に運営することに特段の配慮が必要であると考えている。



若林幹雄 議員

問

土地開発公社の不良資産処理をどうする

答

市の買戻しと実勢価格での販売に努めたい

問 土地開発公社の保有資産53億円をどう処理するのか。その要因と責任はどこにあるのか。

副市長 処理方法は3つ。市が先行取得を依頼した物件は今後8年間で買い戻す。コメリやベイシアへ賃貸している土地は賃貸料収入で簿価の償却を進める。住宅団地は実勢価格まで引き下げ販売に努め、評価損6億円は市が補

填する。バブル崩壊は不可抗力だ。魔女狩りをすべきではない。

問 不良資産問題とは市が新たに借金を背負うことだ。首長の判断だけで土地を購入するという「先行取得」に問題はなかったのか。

副市長 不良資産は11億円程度だ。当時は先行取得は有効だったが、今後はニーズに応じて取得していく。

問 ぜひその通りやってほしい。市が買い取った物件は地元住民の意見も尊重して有効活用してほしい。

温泉施設への委託料について

問 温泉部門の赤字補填のための委託料7千万円は過大だ。飲食部門は黒字ではないか。

産業建設部長 飲食部門の売上は公社に帰属する。

問 協定では飲食部門も委任業務に含まれているはずだ。監査でも問題が指摘されており見直すべきだ。

産業建設部長 今後協定の見直しを図りたい。しかし飲食の売上を差し引くと公社のやる気が損なわれる。

問 温泉の赤字は補填してもらい、飲

食の黒字は公社のものというのは納得が得られない。

市長 振興公社は東御市を全国に売り出す機能を担っている。経営改革を進めており、グレーな部分はあるがご理解いただきたい。

土地開発公社の不良資産処理について

現 状	簿 価	処理方法	必要資金
1.公共用地	11億円	市が簿価で買い取る	11億円
2.賃貸用地	26億円	賃貸を継続する	—
3.住宅用地	15億円	実勢価格で販売促進 損失は市で補填する	6億円
合 計	53億円	—	17億円

(注) 簿価とは帳簿上の価格で、土地購入価格や造成費用に金融機関への支払利息・事務費用を加えたものです。
端数処理の関係で簿価の合計が53億円になりません。



小山義明 議員

問

西海野の
二つのバイパスについて

答

住民の合意の下に
すすめて行きたい

問 西海野で今、具体化している二つのバイパスについて聞きたい。国道18号線上田バイパス、海野バイパスの進捗状況はどうか。

産業建設部長 昨年度上田バイパス第二期工区の東御市本海野から上田市国分間の4・1kmが国土交通省の新規事業として、測量、地質調査が行われている。海野バイパスは、対策委員会を

立ち上げていただいたので事業推進を図っていききたい。

問 教育関係の問題について、①小中学生の通学の安全は保障されているか。②小中学校内での児童・生徒の安全は保障されているか。③全国一斉学力テストの結果の活用はどうか。④今春市内在住者で高校を卒業したもので未就職者はいるか。



4月に開館した玩具展示館

教育長 ①小学校での交通安全教室、防犯ブザーの携帯などにより交通安全と不審者対策の指導はしている。②来

訪者に訪問プレートの使用、ノートへの記名など多面的に対応している。

③小学校6年生と中学校3年生を対象に算数・国語、国語・数学で実施した結果を分析し、現状と課題を把握し活用していく。④上田職安で27人の未就職者がいた。

問 海野宿を観光地としてどう発展させていくか。①玩具展示館の反応はどうか。②今後の建物の改修の方針はどうか。③海野宿の観光地としてビジョンはどうか。

産業建設部長 ①玩具展示館への入館はのびている。②建物の改修は大変すすんでいる。③文化財の観光課の推進景観づくりなどすすめたい。

※その他口蹄疫について質問した。

問 海野宿では、①交通規制②空き家対策③施設整備④来訪者を招くサービスの向上と4つの課題点があると思うがどうか。

市長 まず交通規制については、海野バイパスの整備により、車の流れを変えて通過交通量を減らし、そこに住む人々と観光客が安心して過ごせる地域づくりを目指す。空き家対策については、人の住んでいない状態が続いている家の保存のためには、住んでもらい、永く建物を保つのが大切と考え、公的な機関も協議に入って活用が図られるよう努力したい。

また、文化庁の修理工事に対する指導方針も緩和されて、伝統的建造物を上手に修理して住み続けることによって建物を残していく方針が示されている。施設



長越修一 議員

問

観光ビジョン「海野宿」について

答

各課連携しながら、
将来的な方向性と出したい

整備については、歴史まちづくり法の基本計画を策定する協議の中で、地元や専門家が必要と思われる建物や施設の整備をあわせて検討したい。来訪者を招くサービスの向上については、地域の独自性を活かした「おもてなしの心」を持つて要望に応えられるよう、受け入れ体制づくりを構築したいと考える。

問 デステイネーションキャンペーン「未知を歩こう信州」を当市でもタイアップすべきと考え、また観光を盛り上げるには庁舎内各課横断的なプロジェクトチームが必要と思うがどうか。

市長 デステイネーションキャンペーンに連携し、おもてなしのできる体制を強化したい。各課連携しながら将来的な方向性を出したい。



観光客も大勢訪れる「海野宿ふれあい祭り」



土屋伸吉 議員

問 地域で活動している方々を表彰することは

答 幅広い分野、見地から選考していきたい

問 現在までに、どのような方々が表彰を受けてきたか。

総務部長 市政の振興、公共の福祉増進等の功績のあった方々や、市民の模範となる活動をされた方々である。

問 市長が特に功績を認めて表彰をされた方はおられたか。

総務部長 満百歳を迎えられた高齢者の皆様に、感謝の意味と長寿をお祝いの

し賞状の贈呈をしてきている。

問 地域のボランティア活動等で功績のあった方や団体に対し、表彰の選考対象として考えることは出来ないか。

総務部長 幅広い分野、見地から被表彰候補者の選考を行い、表彰して行きたいと考えている。

冬季の除雪体制について

問 除雪はどのような体制で行っているか。

産業建設部長 除雪業務は、市内幹線



とうみの日(10月3日)の表彰式の模様

道路の延長132kmを、融雪剤散布業務は延長79kmを実施している。

問 除雪の期間はいつからいつまでとして業者に発注しているのか。

産業建設部長 平成21年度は、平成21年11月10日から平成22年3月31日までとして実施した。

問 幹線道路と集落内道路はどのように区分をしているか。

産業建設部長 区内の生活道路については、各区が独自で除雪業務を行っており、その実績に対し市から補助金を交付している。

問 今年のような場合を想定し、除雪業務委託期間の延長は考えないか。

産業建設部長 契約期間外の除雪についても見直しを図っていきたい。

問 定員適正化計画の成果は。

総務部長 一般行政部門の職員数で、21名の削減が行われ、目標を達成した。



石和 大 議員

問 行政改革大綱5ヶ年の成果と次なる取り組みは

答 一定の成果を得た、本年度中に新たな計画を策定

問 19年度に政策方針管理制という制度ができたが、成果はあったか。

総務部長 検証方法が複雑で、制度の目的である事務事業の見直しまで至らず本年度から制度を改善した。

問 新制度の重点事業管理制度においては、結果を会議や市民に示すべきであるが、どう施策するか。

総務部長 評価結果を議会に報告でき

るような形で考えたい。市民への公表もしていける状況をつくりたい。

問 生涯学習まちづくりをより充実し、市民力が生き生きと発揮できるまちづくりを目指すべきと考えるがどうか。

市長 地域が抱える現代的課題にも着目し、市民力が地域づくり、まちづくりに発揮できる講座運営に力を入れる。

問 生涯学習をキーワードに、自立型

市民が力を出せる協働の仕組みづくりが必要だと考えるが取り組みはどうか。

市長 人づくりと地域づくりが連携する協働の仕組みと、具体的な推進方法について早い時期に素案を示したい。

問 内部的なことにとどまらない、市民力を生かした行政改革と市政改革が市の発展につながると考えるがどうか。

市長 10年20年30年先を目指して、継続と不断の革新が地域づくりとなる。

問 市民が一体感を持ってまちづくりに取り組むには、こんなまちにしたいという基本理念の共有が必要では。

市長 地域住民の全員の力で地域づくりができるよう根を張っていくことが、生涯学習のまちづくりの目指すところであろうと考えている。



いきいき子ども講座の開講式



三縄雅枝 議員

問 子宮頸がんワクチンに公費助成を

答 国・近隣市町村の動向を見て判断する

問 日本は今2人に1人がガンになり、3人に1人がガンで亡くなるという世界有数のガン大国である。ガンは侮れない病気であるが、現在では早期に発見すれば治らない病気ではない。しかも子宮頸がんは予防できる唯一のガンである。日本でも発売が開始され、そこで、ワクチン助成と検診のセットで子宮頸がんの発症をゼロに近づける取り組みが全国で始まっている。市においてもワクチンの公費助成をすべきと考えるがどうか。

市長 国会でも審議されるようなのでその結果を見たり、助成を検討している市町村もあるようなので参考にしながら判断をして行く。

問 がん検診の無料クーポン券については、国の本年度予算は3分の1に減



市役所窓口で置かれている活字文書読み上げ装置

額されたが、検診率の向上には効果があつたと考えるので、市としては最低5年間の継続をしてはと考えるがどうか。

市長 5歳刻みの年代に出しているのか。で、5年間継続することでき渡るので、最低5年間の継続の実行は是非実現したいと考える。

視覚障がい者の情報バリアフリー化について

問 音でしか情報を得ることができない視覚障がい者の皆様の為の日常生活用具の活用と、広報等に音声コードの貼付をしてはと考えるがどうか。

健康福祉部長 日常生活用具の活用については、障がい者の目線に立つて普及を図っていく。音声コードの貼付については関係課と協議しながら進めていきたい。

問 景気は若干の明るい兆しが見えつつあるものの雇用環境は厳しい。特に若者（15歳〜24歳）の失業率は9・6%と非常に高く深刻な問題でもある。市の雇用対策事業の内容と成果は。

産業建設部長 21年度から3年間で人



櫻井寿彦 議員

問 雇用対策事業と新卒者への就職支援策は

答 非正規で234人を雇用就職に不利が生じないよう努める

件費で1億4300万円。234人の非正規雇用を見込んでいる。一時的ではあるが生活の安定に寄与できている。

問 東御清翔高に就職活動を支援する支援員が7月から配置される。近隣の自治体に「雇用創出補助金」制度がある。若者への就職支援策として市独自の支援員制度はできないか。

市長 支援員により就職活動しやすく

なるということであれば、その制度を無視できない。良く検討し、市内の新卒者に不利益が生じないよう対処したい。

身体教育医学研究所の有効活用と財政支援について

問 平成11年に東京大学、北御牧村、みまき福祉会により、全国初の研究所として設立され、昨年2月に財団法人

として自立した。健脚度測定や温泉を活用した健康づくりなどのシンクタンクとして、市の政策に活かしては。

市長 今後、調査・分析能力を最大限活用し、政策づくりに繋がる仕組みを作っていく。

問 研究所は貴重な財産であり存続には財政支援が必要と考える。市内の各種機関との連携を図っては。

市長 健康づくりへの研究活動は市として積極的に財政支援をしていくが自助努力も大切。保育園との連携や今後は振興公社との連携も図っていく。

教育長 学校現場のニーズの把握をし、研究所を活用した健やかな子どもを育む東御市らしい取り組みの構築が必要と考える。



笑顔いっぱい「運動あそび」をする園児



国の指針に沿って口蹄疫の
対応がされた



山崎美喜子 議員

問 どの子にも
基礎学力と生きる力を

答 授業数が増えるので教職員の
加配に十分配慮している

問 学習指導要領が改定され、来年度から実施される。今でも子も親も教師も大変である。どう対応されるのか。大人が子どものためって何だろうと、語り合い学び合うことが必要である。

茅野市では、毎朝の10分間読書により、集中力が上がり、授業にも集中でき、不登校の比率が低くなったという結果が出ている。東御市でも、毎日10

分間読書を始めてはどうか。

木登り、穴掘り、たき火などの公園ではできない遊びのできる、プレーパークを設置できないか。

教育委員長 授業時間は1・2年生で週2時間、3年生から中学生は週1時間増加する。5・6年生は、英語が入る。教職員の加配等に十分配慮している。
教育部長 朝読は各学校週1・2回実



模型が示された本庁舎と新図書館の合築計画

市長 地域全体で子育てを考える場として、生涯学習や地域づくりの中で実施したい。

舞台が丘整備事業について

問 本庁舎と新図書館の合築模型を造って、市民の理解を得てはどうか。

設計は始まったのか。業者はどこか。資金計画は、計画どおりなのか。新図書館への市民の声をどう聞くのか。
総務部長 構想を具体化させ、模型によりわかりやすく示したい。

おおまかな計画で図面等の作製を進めている。業者は株式会社アプルである。可能な限り事業費の抑制に努める。
生涯学習部長 市民が自由に参加できる講座を月1・2回開講したい。

から対応していきたい。

デジタル教科書の普及促進について

問 発達障がいや、その他の障がいのある児童・生徒のための拡大教科書や、「デジタル教科書」は特別支援教育の学校現場や保護者の間で大きな成果が得られることが認められてきた。本市の普及促進と対応についてどう考えるか。

教育部長 一つは他の教科書と同等の選択肢と考えている。教育現場でのデジタル教科書の理解はこれからであり、障がいのある子どものニーズに合わせて取り組みが必要だ。授業の中でどのように有効に生かせるか今後の研修、あるいは研究によるものと考えている。



依田政雄 議員

問 市民の生命と健康を守る
対策について

答 うつ病については実態を把握して、自殺
予防など予防対策の施策に活用する

問 2009年版「自殺対策白書」によると自殺の原因は、「健康問題」が最も多く、中でも総合的な「うつ病対策」が重要な課題である。本市における自殺対策の現状と課題、自殺予防対策としての「うつ病対策」については、**健康福祉部長** 市では県が実施する自殺対策推進事業を活用し、住民アンケート、心の健康づくり基礎調査を行

い、これをもとに自殺に対する認識、自殺したい気持ちについての実態等を把握し、今後のメンタルヘルス対策や自殺予防対策の基礎資料とし、自殺予防、とりわけ、うつ病の予防対策の施策立案に活用したい。

口蹄疫からわがまちの畜産業を守るために

問 宮崎県の家畜伝染病「口蹄疫」の被害が爆発的に広がっている。口蹄疫から畜産業を守るための取り組み等また、危機管理体制についてどう考えるか。
産業建設部長 市としては、国が策定した口蹄疫に関する特定家畜伝染病防疫指針に沿って、家畜保健衛生所やJA等の関係機関との連携、協力をしな



蓮見喜昭 議員

問

土地開発公社の今後は

答

規模縮小をはかりながらも必要な時は必要に応じて使っていきたい

問 今年度、市が土地開発公社から買い戻す土地の総額はいくらか。

副市長 21年度末の簿価額については約11億3千800万円である。今年度分については今後の市の財政状況を勘案した中で、買い戻しの額を決定していきたい。

問 市が税金を使って公社から土地を買い戻すことについてどのように考えるか。そしてその買い上げる土地の価格と簿価の差はどのように穴埋めしていくのか。

副市長 市が土地開発公社に依頼して先行取得してもらった土地なので依頼主でもある市が買い戻すのは当然である。価格についても相手である土地開発公社に損失が出てはならないと考える。

問 共用地は予算措置して議決対象として取得している自治体もあるが、将来的に東御市はどうか。

副市長 それも1つかと思うが、議会の全員協議会の中で理解頂いた中で進めている。公社があることにより、売却差に若干でも優遇があると考えており、先行取得というふうにはいかないが、公社としての活用もまだまだ考えられる。

市長 私自身は非常にアナログ的な人間であり、時間があればブログ、ツイッターに時間を費やすより、本を読みたいというのが正直なところ。不徳のところではあるがお許し頂きたい。職員の中には得意とする者がいるので、どうということが可能か検討してみたい。



土地開発公社分譲の住宅団地

平成22年第2回定例会で

承認・可決した条例等

◆議案第39号

東御市税条例の一部改正（専決処分承認）

◆議案第40号

東御市都市計画税条例の一部改正（専決処分の承認）

◆議案第41号

東御市国民健康保険税条例の一部改正（専決処分の承認）

◆議案第42号

◆議案第39号

東御市営住宅管理条例の一部改正（専決処分の承認）

◆議案第40号

市営住宅のうち島川原住宅を廃止するものです。

◆議案第41号

東御市職員の勤務時間及び休暇等に関する条例等の一部改正

◆議案第42号

東御市一般職の職員の退職手当に関する条例の一部改正

◆議案第47号

東御市農業委員会の選挙による委員定数並びに選挙区の設定及び各選挙区において選挙すべき委員の定数に関する条例の一部改正

東御市農業委員会の効率的な運営を図るため、選挙による委員の定数を20人から17人にするもので、改正後の委員定数は次のとおりです。

第1区（旧東部町の区域）：12人（改正前13人）、第2区（旧北御牧村の区域）：5人（改正前7人）

◆議案第48号

◆議案第49号

玩具展示館指定管理者の指定

◆議案第51号

東御市特別職の職員等の給与に関する条例の一部改正

市下水道使用料についての非違行為に対する管理監督責任を踏まえ、平成22年7月における市長及び副市長の給料月額について100分の10を減額する特例措置を設けるものです。



請願・陳情等

(請願第6号)

◆子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める請願書

▽請願者 新日本婦人の会東御支部

▽紹介議員 小山義明

▽審議結果 採択

(陳情第20号)

◆後期高齢者医療制度の廃止を求める陳情

▽陳情者 長野県社会保障推進協議会

▽審議結果 採択

(陳情第24号)

◆政治資金規正法の制裁強化を求める陳情書

▽陳情者 人にやさしい地域づくりの会

▽審議結果 採択

(陳情第27号)

◆未就職新卒者の支援策実施を求める陳情書

▽陳情者 人にやさしい地域づくりの会

▽審議結果 趣旨採択

(陳情第28号)

◆小規模グループホームの防火体制強化を求める陳情書

▽陳情者 人にやさしい地域づくりの会

りの会

▽審議結果

採択

(陳情第29号)

◆子宮頸がん予防ワクチンの定期接種化を求める陳情書

▽陳情者 人にやさしい地域づくりの会

▽審議結果 採択

本会議において採択された請願・陳情について、関係機関への意見書の提出が議員提出議案として提案され、それぞれ可決されました。
意見書の主な内容は、次のとおりです。

○政治資金規正法の制裁強化を求める意見書

現行法では、国会議員など政治団体の代表者が「会計責任者の選任及び監督」について「相当の注意を怠ったときは、50万円以下の罰金に処する」と規定されているが、実際に会計責任者が収支報告書の虚偽記載などの不正を犯した場合、その人を会計責任者に選ぶ段階で「相当の注意を怠った」と立証するのは困難であり、実効性に欠けると言わざるを得ない。

従って、会計責任者の「選任及び監督」を「選任又は監督」に変更し、政治団体の代表者が会計責任者の監督についてだけでも「相当の注意」を怠れば、罰金刑を科せられる仕組みに改めるべきである。

国及び政府におかれては、より一層の制裁強化を図るため、秘書などの会計責任者が違法行為を犯した場合に、監督責任のある国会議員の公権（選挙権や被選挙権）を停止する政治資金規正法の改正を強く要望する。

○子宮頸がん予防ワクチンの定期接種化とこれに伴う公費助成を求める意見書

女性のがんである子宮頸がんは、毎年約1万5000人が子宮頸がんと診断され、約3500人が亡くなると推計されています。

このHPV感染について、予防するワクチンの研究開発が進み、現在では100カ国以上の国で承認され、20〜30カ国で公的補助による接種が実施されております。子宮頸がんは、「予防可能ながん」ということになったのです。

日本においては、昨年10月にワクチンを承認し、12月に発売が開始されたところです。しかし、接種費用が1回1万2千から2万円かかり、3回の接種が必要となることから、高額な負担となり、定期接種化が強く求められています。

そこで、子宮頸がんの予防対策を図るために、国会及び政府が下記事項について、誠意ある対応をされるよう強く要望します。

記

子宮頸がん予防ワクチンの定期接種化を早期に実現するとともに、無料で接種できるよう公費助成制度を確立すること。

○後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書

○小規模グループホームの防火体制強化を求める意見書

1 275㎡未満の施設も含め、全てのグループホームにスプリンクラーの設置を進めるとともに、交付金等による国の支援を拡充すること。

2 小規模グループホームにおける人員配置基準を拡充するとともに、介護報酬の引き上げを図ること。

○未就職新卒者の支援策実施を求める意見書

若者の厳しい雇用情勢に対応するため、速やかに国を挙げて雇用確保のための成長戦略をはじめ、経済政策、雇用支援策など全面的に手を打つべきである。

よって、政府においては、特に、高校、大学などの新卒就職支援対策及び採用企業への支援策等を早急に実施するよう強く要望する。

全員協議会だより

全員協議会が開かれ、市づくりにかかわる重要事項について、行政側より説明を受けました。その主な項目は、左記のとおりです。

◎職員の仕事後報告について

6月5日午前4時半頃、職員が交通事故をおこした。飲酒運転にはあたらないが前の日の晩に飲酒が判明。停職3ヶ月、関係上司厳重注意。今後は市の職員が先頭に立つて交通事故防止に努めていく。

◎下水道料金の賦課漏れ対応について

11世帯の賦課漏れが発覚。そのうち3件は市の処理漏れ、8件は施工業者が代行する届け出がされていなかった。賦課漏れ総額47万943円、うちすでに時効成立額193万5120円。今後は残りの214万3823円の請求を進めていく。再発防止に指定工事店への指導徹底、システムの改善に努める。処分については今後委員会内で検討する。

◎下水道事業受益者負担金の未徴収対応について

97・3%徴収しているが、6410万5千円が未納である。今までは未収金計上してきたが、時効（5年）を迎えているので、今後は協力金という形で徴収していきたい。平成22年度不能欠損として計上する。

今後は未利用者については開始時に納入して頂く。

◎みまき福祉会決算報告について

◎身体教育医学研究所決算報告について

◎まちづくり交付金事業に付加する歴史まちづくり事業について

海野地域の歴史まちづくり法に基づく歴史的風致維持向上計画

（市町村が重点区域を設定し、文化財、伝統産業、行事、景観等が一体となって形成してきた良好な市街地環境の維持向上をはかるための計画）の策定についての説明。計画期間は5年～10年とする。認定を受けるとまちづくり交付金事業の交付率拡充等のメリットがある。

◎伊勢原住宅団地について

平成25年度までの事業。利用者の利便性向上のための手すり設置や、買収用地の地盤がボーリング調査によって弱かったことがわかったため、杭打ちによって強化する必要性がでてきたので2160万の補正をお願いしたい。

◎東御市土地開発公社決算報告について

今回から簿価と時価による二本立ての決算書となった。

◎浅間山麓総合開発株式会社（ATD）決算報告について

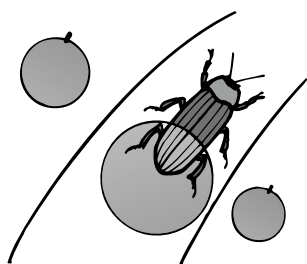
◎株式会社信州東御市振興公社決算報告について

◎商工会館の移転補償について

舞台が丘整備事業に伴い、商工会に北御牧への移転をお願いする際の移転補償として4020万円の補正。整備事業中は市の建物として臨時使用し、その後、市が取り壊しを行っていく。

◎コミュニティFM事業について

今年度秋に予定している開局にむけての説明。その中で、コンサルティング業務委託等での1700万の補正をお願いしたい。



議会のうごき

- 5月**
- 6日 議会運営委員会
 - 7日 産業建設委員会市有林調査
 - 8日 梅野 隆氏退任慰労パーティ
 - 10日 農業者年金協議会総会
 - 11日 日本下水道協会長野県支部総会
浅間山麓産業振興推進協議会
社会福祉委員会行政視察研修(～13日)
 - 12日 上田広域議会代表者会
 - 14日 女性団体連絡協議会総会
 - 15日 根っこの会総会
 - 17日 田中商店街(協)・商工会田中支会総会
 - 18日 総務文教委員会行政視察(～20日)
 - 19日 産業建設委員会行政視察(～21日)
社会福祉協議会理事会
 - 20日 県都市監査委員会総会
 - 21日 北陸新幹線長野県沿線市町村連絡協議会
上田広域臨時議会
 - 24日 社会福祉協議会評議員会
商工会総会
 - 25日 浅間山麓総合開発(株)取締役会・株主総会
観光協会総会
 - 26日 全国市議会議長会(～27日)
 - 27日 上田市東御市真田共有財産組合議会
東海地区都市監査委員会総会(～28日)
県道立科小諸線整備促進期成同盟会総会
 - 28日 上田バイパス建設促進委員会総会
 - 29日 上小地区障害者スポーツ大会
男女共同参画講演会・推進会議総会
みまき福祉会理事会・評議員会
 - 31日 議会運営委員会
議員研修会
土地開発公社役員会
第12回議会改革推進委員会

- 6月**
- 1日 湯の丸高原山開き
社会福祉協議会理事会
 - 3日 平成22年第2回定例会開会
 - 5日 上田交通安全協会東御部会総会
 - 7日 議会全員協議会
 - 10日 青少年育成市民会議総会
 - 14日 第2回定例会一般質問(～15日)
 - 15日 議会運営委員会
 - 17日 第2回定例会総括質疑・委員会付託
全員協議会
 - 18日 第2回定例会常任委員会・正副委員長会議
 - 20日 市ポンプ操法・ラッパ吹奏大会

- 湯の丸つつじ祭り
 - 21日 岐阜県高山市議会来庁
大屋海野地域道路整備推進協議会
 - 22日 まちづくり懇談会(北御牧地区)
 - 23日 まちづくり懇談会(田中地区)
 - 24日 第2回定例会閉会
議会運営委員会
議会全員協議会
市民病院透析室工事起工式
東御交番市民憩いの場設置お披露目の会
第13回議会改革推進委員会
 - 25日 まちづくり懇談会(滋野地区)
 - 28日 まちづくり懇談会(祢津地区)
上田バイパス対策協議会設立総会
 - 29日 建設業協会懇談会
 - 30日 祢津保育園建設工事起工式
第1回議会だより編集委員会
まちづくり懇談会(和地区)
- 7月**
- 1日 秋田県美郷町議会来庁
 - 2日 東御市立科町小諸市議会議員研修会
米国マドラス市親善訪問(～8日)
 - 8日 県市議会議長会(～9日)
 - 7日 上田地域広域連合議会現地調査
 - 9日 湯の丸観光開発(株)株主総会
第2回議会だより編集委員会
 - 10日 県手をつなぐ育成会大会
 - 14日 北佐久老人福祉施設組合議会運営委員会
国道18号上田バイパス第二期工区建設促進期成同盟会総会
 - 15日 佐久水道企業団水源感謝祭
 - 16日 議会運営委員会
議会全員協議会
中学生ホームステイ(オーストラリア、韓国)出発式
 - 17日 田中天神祭
 - 21日 上田広域議会行政視察(～22日)
新張山土石採取地緑化防災措置状況確認
岐阜県高山市議会来庁
第3回議会だより編集会議
 - 22日 県道東部望月線建設促進期成同盟会総会
鳥取県倉吉市議会来庁
 - 23日 北佐久老人福祉施設組合議会
社会福祉協議会理事会
工業振興会総会
 - 24日 東御市婦恋村議会議員研修会
 - 25日 議長杯争奪戦マレットゴルフ大会
 - 26日 第4回議会だより編集会議
 - 27日 常任委員会視察報告会
 - 29日 上田市東御市真田共有財産組合監査
 - 31日 市民まつり

「さわやかな風と、出会いの元気発信都市。」 東御市 3万5千人構想について!!



田辺 廣巳さん
(下八重原西部)

私は、平成8年4月に会社の辞令により長野県に、Uターンして来ました。家族は妻と子供3人です。

今は子供達も皆、世帯を持ち八重原の地を永住地として、平成10年に上田市の社宅より移住して参り、現在は夫婦2人の生活です。

その後、平成16年4月東部町との合併、全国各地で新しい市が誕生する中で東御市も新たな歴史がスタート。地域には北御牧地域審議会が設けられて委員公募の記事を見て、私も2期4年間参加させていただき、会議に関心を寄せるようになり、折を見ては会議を傍聴する様に努めています。

議会は行政のチェック機能を果たしながら、市民の代表が市民の代弁者として参加している会議であり、市民が覗いて見たいのも必然です。

国会も、先の衆議院選挙で、政権交代。しかし、基地問題と政治とカネで大きく期待もはずれ、今や政治不信で失望のどん底です。

東御市は日当たりも良く、県内でも交通の便が良い位置に有り、素晴らしい所と夫婦で自慢しています。東御市の市議会を傍聴し感じた事は、先ず行政と議員が真剣に向きあった質疑応答。内容によつては再質問、または再々質問と双方で真剣に議論し、元氣な財政のまちを創ろうと取り組んでいる姿にほっとしています。

地方が栄えれば、国が栄え、また人集まる所が栄え、栄える所に人集まる、と言います。そんな人の集まる元氣な東御市を期待しています。

しかし、長い過去の歴史と、諸課題も山積みしている中では、行政運営も大変な事でしょうが、「温故知新」、人が知恵を絞り出し合えば必ず3・5万人、4万人構想も夢ではないはず。

梅雨も過ぎ、暑さも日毎に増してきました。市民の皆様と共に、議員の皆様には健康に充分留意され、ますますのご活躍を祈念し投稿を終わります。

あとがき

子どもたちに人として教える事。ウソをついてはいけない、約束は守らなければいけない、大人の社会で範を示せているでしょうか。損か得かではなく、正しいか否かで判断すべき。胸を張って言えるでしょうか。自戒しています。

利を得るために情報を氾濫させ、子どもたちを溺れさせるような社会は健全ではなからうに。

サッカーワールドカップ、日本代表の活躍に心打たれた人々は多いことでしょう。地道な努力の積み重ねが結実したものだから美しい輝きを見せたのでしょう。脚光を浴びなかった選手も支えたスタッフも大勢いたでしょう。志を持って目標に向かっていく美しさが光を放つのでしょうか。

議会も住民代表。キラリと光る議会。いぶし銀かもしれません。しかし、身近な議会として、将来子どもたちが議員になる事に憧れるような議会。素敵な大人になりたいと念じています。

石和 大

広報委員

清水 新一
依田 俊良
蓮見 喜昭
土屋 仲吉
若林 幹雄

阿部貴代枝
石和 大
三縄 雅枝
町田 千秋